

5月の夜空



東 南 2023年 5月15日 午後 8時00分 西

5月 6日02時34分：満月 ○ (半影月食)	5月28日00時22分：上弦 ◐
5月12日23時28分：下弦 ◑	5月28日：くじら座ミラ極大光度
5月20日00時53分：新月 ●	5月29日14時34分：水星 西方最大離隔

半影月食は、光度変化が微妙なので、眺めている程度では気づきません。また、変光星の代表のようなミラですが、周期が328日と長期的な観望対象です。



きらら室根山天文台

- ★ 住 所 〒029-1201 岩手県一関市室根町折壁室室根山1-146 TEL/FAX 0191-64-3700
- ★ 休 館 日 火・水曜日 夜間開館 金・土・日曜日 及び 祝祭日当日 と その前日
- ★ 開館時間 【昼の部】 13:30～17:00(4月～8月) 13:30～16:30(9月～11月) 【夜の部】 19:30～21:30(4月～8月) 19:00～21:30(9月～11月)
- ★ 入 館 料 大人330円 小・中学生160円 団体(20名様以上) 大人270円 小・中学生130円
- ☆ 学校の親子行事や子ども会など団体でのご利用の場合は、休館日でもお受けすることがあります。

詳しくは、一関市役所室根支所産業建設課(0191-64-3806)まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

天体望遠鏡に慣れましょう

私達は大抵の場合、明るい場所、暗い場所、近いもの、遠いもの等をあまり気にすることなく見えています。望遠鏡を覗く機会はあまり多くないので、皆さんの目にとっては特殊な条件です。直前の自分自身の行動によっても見づらくなったり、見えなかったりします。見えない場合は何度かチャレンジして慣れましょう。

星々の輝きに魅了

幅広い条件に対応している人間の目は優秀です。また、人間の目で認識できない暗さを際立たせてくれる写真も優秀です。楽しみ方を自分のものにしましょう。

初めての天体観測

天体（空にある物体）を、肉眼（道具を使わない自分の目）で見ると、たぶん一つの太陽、たぶん一つの月、多くの星々が分かります。それらを望遠鏡で見ると、日々昇ったり沈んだりしても太陽は確かに一つ、月も確かに一つ、星は、自ら発光して輝いているものや光を浴びて輝いているもの、1個で輝いているもの、集まって輝いているもの等が分かります。

まず、天体望遠鏡への慣れと自分の目の訓練を兼ねて、発光している星（恒星）と光を浴びている星（惑星）の違いを観測してみましょう。自分の目（肉眼）で見た印象と望遠鏡で見た印象の違いも記憶しましょう。

5月

昼の部 太陽、月、火星、金星、ベテルギウス、シリウス など

夜の部 月、火星、金星、スピカ、レグルス、ソンプレロ銀河 など

きらら室根山天文台

- ★ 住 所 〒029-1201 岩手県一関市室根町折壁字室根山1-146 TEL/FAX 0191-64-3700
- ★ 休 館 日 火・水曜日 夜間開館 金・土・日曜日 及び 祝祭日当日
- ★ 開館時間 【昼の部】 13:30～17:00(4月～8月) 13:30～16:30(9月～11月) 【夜の部】 19:30～21:30(4月～8月) 19:00～21:30(9月～11月)
- ★ 入 館 料 大人330円 小・中学生160円 団体(20名様以上) 大人270円 小・中学生130円
- ☆ 学校の親子行事や子ども会など団体でのご利用の場合は、休館日でもお受けすることがあります。

詳しくは、一関市役所室根支所産業建設課(0191-64-3806)まで、お気軽にお問い合わせ下さい。